

健康アドバイス



三宅 眞砂子 医師
(吉備医師会から)

吉備医師会では、平成21年から総社市でのインフルエンザの流行状況を調査しています。例年12月から3月にかけて流行し、2500～5500人の患者数の報告があります。総社市民の5%前後が毎年感染しているわけです。

インフルエンザウイルスはA型2種類、B型2種類の4種類あり、年により流行する種類が異なります。感染すると数日後

今月のテーマ 感染症予防

インフルエンザと新型コロナウイルス

に、高熱、頭痛、全身の倦怠感などの症状が急速に現れます。その後、鼻水や咳が出るなどの症状が続く、熱は3～5日間下がります。1週間程度で治りますが、高齢者や子どもは重症化する例もあります。予防にはワクチン接種が有効で、治療に必要であれば抗ウイルス剤を投与します。

新型コロナウイルス感染症は、発熱、咳、倦怠感が1週間程度続き、嗅覚・味覚障害がみられるのが特徴です。感染者のうち80%の人は風邪の症状のまま治りますが、残りの20%の人は悪

化して入院が必要になる場合もあります。今のところ、予防に有効なワクチンも特別な治療薬もありません。

どちらの感染症も、飛沫と接触で感染します。手洗いや咳エチケットを徹底し、3密(密閉・密集・密接)を避け、マスクを着用するなどの予防対策が大切です。また、感染初期の検査では陰性のこともあり、検査で感染していないことを証明することはできません。感染を広げないためには、無理をして頑張るのではなく、体調不良であれば休むという考え方が大切です。

問い合わせ 健康医療課健康増進係 (☎08259)

安全・安心 のすすめ

総社署から

自動車のウインカーは、指し示すという意味のドイツ語「winken」が由来と言われています。

自動車の発展により交通量が増加し、それに伴い交通事故も増加しました。事故原因を調査した結果、相手の車の動きが予測できないことが一因と分かり、車の進行方向を周りに示すために開発されたのがウインカーです。



日本一ウインカーを出さない県の返上を

ウインカーは、道路交通法で使い方が定められています。右左折の場合は曲がる地点の30メートル手前から、車線変更の場合は進路を変える3秒前から、車の進行方向を示す合図を出すよう決められています。信号待ちをした後、発進と同時にハンドルを切りながらウインカーを出す人がいますが、これは明らかな交通違反であり、事故につながる危険な行為と言えます。違反すると、違

反点数や反則金が課せられます。平成28年に日本自動車連盟(JAF)が行った交通マナーに関する意識調査によると、岡山県は、ウインカーを出さずに車線変更や右左折をする車が多いと思う県の全国第1位、という不名誉な結果となっています。

総社警察署では「ウインカー出そうじゃ(総社)ねえかあ(car)大作戦!!」を展開し、ウインカーの適正使用を促す啓発活動や指導、取り締まりを強化しています。

交通事故を防ぐためにも、正しいウインカーの使用をお願いします。

監修・問い合わせ 総社警察署 (☎0110)

文化

赤米の伝承をオンラインで協議

問い合わせ 観光プロジェクト課文化財係 (☎08363)

対馬市・南種子町・相川大使ら出席

古代米の赤米を継承する長崎県対馬市・鹿児島県南種子町・総社市などで行く赤米伝承文化連絡協議会が、8月20日に役員会を開



1

①会議に参加した新本小学校の6年生 ②Web会議ツールを使用したリモート会議



2

催。新型コロナウイルス感染症の影響で赤米サミットの開催が難しい状況を受けて、オンラインで会議を行いました。3市町の首長と赤米大使で歌手の相川七瀬さん、新本小学校6年生の児童、赤米保存会のメンバーが出席。相川さんは、「こんなときだからこそできることを、皆で一緒に考えていきましょう」と、片岡市長は、「厳しい状況の中ですが、赤米ネットワークの協力を強めて、新しいものをつかみとりましょう」と述べました。会議では、今後の赤米伝承文化継承事業について協議。赤米に関するホームページの立ち上げなどの案が出されました。

岡山商科大学と連携協力に関する包括協定を締結

岡山商科大学と市は、連携協力に関する包括協定を締結。8月27日、市役所で協定締結式を行いました。

式に出席した同大学の井尻昭夫学長は、「総社市は学生インターンシップも受け入れてくださっており、社会に優位な人材育成にご協力いただいている。今後は、大学の研究成果を総社市に還元するなど、相互に貢献できたらと思っています」と、市長は、「本当に困ったときに助け合い、共に伸びていけるような意味のある協定にしたい。岡山商科大学から学ぶべきことはたくさんあります」と述べました。

今後は、支援の体制を構築し、人材育成や



協定書を手にする岡山商科大学の井尻学長と片岡市長(写真右から)

先駆的な地域づくり・まちづくりのため相互に協力していきます。

問い合わせ 政策調整課 (☎08213)